



## 2022年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年4月6日

上場会社名 株式会社GameWith 上場取引所 東  
 コード番号 6552 URL <https://gamewith.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 執行役員 (氏名) 今泉 卓也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 日吉 秀行 TEL 03-6722-6330  
 四半期報告書提出予定日 2022年4月6日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年5月期第3四半期の連結業績（2021年6月1日～2022年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第3四半期	2,282	6.9	175	—	206	—	119	—
2021年5月期第3四半期	2,134	△3.3	△237	—	△244	—	△246	—

(注) 包括利益 2022年5月期第3四半期 120百万円 (—%) 2021年5月期第3四半期 △246百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期第3四半期	6.60	6.56
2021年5月期第3四半期	△13.70	—

(注) 2021年5月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年5月期第3四半期	4,830	3,271	67.7
2021年5月期	4,818	3,151	65.3

(参考) 自己資本 2022年5月期第3四半期 3,271百万円 2021年5月期 3,148百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年5月期	—	0.00	—		
2022年5月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年5月期の連結業績予想（2021年6月1日～2022年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,143	9.1	209	—	237	—	140	—	7.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年5月期3Q	18,315,900株	2021年5月期	18,295,900株
② 期末自己株式数	2022年5月期3Q	251,235株	2021年5月期	251,235株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年5月期3Q	18,053,456株	2021年5月期3Q	18,014,628株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は2022年4月6日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書 .....	4
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(会計上の見積りの変更) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う度重なる緊急事態宣言の発出により、個人消費や企業の生産活動は様々な制約を受けました。また、新たな変異株の拡散が懸念されるなど収束の見通しが立たず、依然として先行きに対する不透明感が続いており、個人消費や行動においても、持ち直しの兆しがみられますが、引き続き弱い動きとなっております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、ゲーム情報メディア「GameWith」等にて、①ゲームを有利に進めるための情報を提供する「ゲーム攻略」、②ゲームを見つけるための情報を提供する「ゲーム紹介」、③専属のゲームタレント及びeスポーツ選手が動画プラットフォーム上で行う「動画配信」という主な3つのコンテンツの提供と充実を図ることに経営資源を投下することで、「GameWith」等のメディアの価値を高めてまいりました。

当社グループの事業は、上記コンテンツを主にWebサイトの利用者に提供し、そこに表示される広告枠を販売すること等により収益を得ております。当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響により広告出稿を控えていた企業も徐々に投稿を増やし、「GameWith」等のページビュー当たりの広告単価は改善傾向にありました。

このような環境下において、当社グループはゲーム攻略やゲーム紹介といった既存事業の拡大に取り組むだけでなく、新たにeスポーツ領域に注力することで今後の事業を拡充することに努めてまいりました。eスポーツ領域は、2021年10月には日本におけるプロeスポーツチームのパイオニアであり、世界で最もプレイヤー数の多いPCゲームとされている「League of Legends」部門の日本チャンピオンチームの運営をし、世界的な大会においても実績を残している株式会社DetonatioNの株式を取得し相乗効果が見込める事業展開を計画しただけでなく、eスポーツ大会用の配信スタジオ運営事業及びeスポーツ選手やオンラインゲーマー向けの通信サービス事業等を推進するため、アルテリア・ネットワークス株式会社と合弁会社「GameWith ARTERIA株式会社」の設立に合意するなど、更なる事業を展開するための施策に、積極的に取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,282百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は175百万円（前年同期は営業損失237百万円）、経常利益は206百万円（前年同期は経常損失244百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は119百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失246百万円）となりました。

なお、当社グループは「メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が80百万円、未収消費税等が77百万円、未収還付法人税等が161百万円減少したものの、売掛金及び契約資産が90百万円、子会社株式の取得によりれんが231百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が28百万円、未払費用が20百万円、未払法人税等が63百万円増加したものの、長期借入金が246百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,271百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が119百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2021年7月14日公表の業績予想の数値を修正しました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び営業外収益（投資事業組合運用益）の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,530,036	3,449,294
売掛金	384,067	—
売掛金及び契約資産	—	474,253
前払費用	49,353	74,488
未収消費税等	81,872	4,719
未収還付法人税等	161,850	—
その他	5,313	11,926
流動資産合計	4,212,495	4,014,682
固定資産		
有形固定資産	122,921	98,902
無形固定資産		
のれん	94,231	325,303
無形固定資産合計	94,231	325,303
投資その他の資産	388,819	391,247
固定資産合計	605,973	815,453
資産合計	4,818,468	4,830,135
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	67,427	96,069
1年内返済予定の長期借入金	328,404	328,404
未払金	62,372	58,398
未払費用	106,811	127,804
未払法人税等	4,777	68,291
賞与引当金	109,408	40,439
資産除去債務	11,810	11,809
その他	22,273	119,755
流動負債合計	713,284	850,971
固定負債		
長期借入金	926,426	680,123
資産除去債務	27,685	27,682
固定負債合計	954,111	707,805
負債合計	1,667,396	1,558,776
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	549,625	551,225
資本剰余金	548,624	550,224
利益剰余金	2,249,481	2,368,604
自己株式	△200,107	△200,107
株主資本合計	3,147,623	3,269,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445	1,412
その他の包括利益累計額合計	445	1,412
新株予約権	3,004	—
純資産合計	3,151,072	3,271,358
負債純資産合計	4,818,468	4,830,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)
売上高	2,134,597	2,282,199
売上原価	1,047,497	1,224,642
売上総利益	1,087,100	1,057,556
販売費及び一般管理費	1,324,459	881,803
営業利益又は営業損失(△)	△237,359	175,753
営業外収益		
受取利息	33	34
助成金収入	3,988	570
投資事業組合運用益	—	31,998
その他	98	2,058
営業外収益合計	4,119	34,661
営業外費用		
支払利息	2,833	3,185
投資事業組合運用損	6,354	—
その他	2,176	761
営業外費用合計	11,364	3,947
経常利益又は経常損失(△)	△244,604	206,467
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,263
特別利益合計	—	3,263
特別損失		
事業所閉鎖損失	119,847	—
特別損失合計	119,847	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△364,451	209,730
法人税、住民税及び事業税	7,936	62,762
法人税等調整額	△125,629	27,844
法人税等合計	△117,692	90,607
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△246,759	119,123
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△246,759	119,123

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△246,759	119,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△193	966
その他の包括利益合計	△193	966
四半期包括利益	△246,952	120,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△246,952	120,090
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用による損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、時価算定会計基準の適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、一部事務所の退去を予定しているため、退去後利用見込みのない固定資産について、耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

なお、この変更による、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、開示を省略しております。